

〔長野県の学校教育の理念〕

- 子どもの内なる力を伸ばす教育
- 地域と共に歩む学校

学校教育目標

たくましく かしこい子どもの育成

〔めざす子どもの姿〕

- 深く考え取り組む子ども [知]
- 思いやりのある子ども [徳]
- 健康でがんばりのきく子ども [体]

〔上田市教育大綱〕

- 輝く上田の未来を紡ぐ人づくり
- 確かな学力を養う
- グローバルな能力を培う
- ふるさと上田に学ぶ

〔児童の実態（よさのとらえ）〕

- ・学習に素直に取り組める。
- ・一生懸命、話を聞こうとする。
- ・言われたことにまじめに取り組む。
- ・前向きな気持ちをもっている。

〔地域・保護者の願い〕

- ・友だちの考えも大切にし、主体的に学ぶことができる。
- ・明るく、はっきりと挨拶できる。
- ・健康で、元気に活動できる。

〔本年度の重点〕 合言葉「さあ、つながろう！」

「互いに認め合える、居心地のよい学校づくり」



かんがえよう

- 自分の考えをもとう
- 最後まで話を聞こう
- 進んで伝え合おう

つながろう

- 心のこめて あいさつをしよう
- 歌声をひびかせよう
- 相手を思いやる気持ちをもとう

やりぬこう

- 最後まであきらめずに取り組もう
- 元気に からだを動かそう
- 時間いっぱい無言になるそうじをしよう

自ら考え 共に学び合える学校

◎ 「多様な見方・考え方」をつなぐ

1 全校研究テーマ

すべての子どもが「わかる・できる」を実感できる授業づくり  
～ 目で見て はっきり あたかく ～

2 「児童理解」を中核に据えた授業改善

- 安心して学び合える環境づくり
  - ①授業のUD化(視覚的・具体的・肯定的)「川辺小UDスタンダード」
  - ② MIM を利用したアセスメントの実施と教材研究
- 「主体的・対話的で深い学び」の充実
  - ① 「教師主導型の授業」からの脱却
  - ② 「問い」のある授業
  - ③ 学習形態の工夫 (ペア・グループ等)
  - ④ 「相手意識」「伝え合う力」の育成
- 「学年内授業交換・教科担任制」の工夫

3 基礎・基本の定着

- (1) ドリル学習や家庭学習の充実
- (2) ICTを活用した教育活動の充実

4 職員研修の充実

- (1) 日々の授業を気軽に見合い学び合う

のびのびと表現し合える学校

◎ 「思いや願い、気づき」をつなぐ

1 「児童理解」を中核に据えた学校づくり

- (1) お互いに認め合える関係づくり (人権感覚)
  - ・子どもたちの「心の声」に寄り添い
  - 安心できる人間関係づくり(Q-U等の活用)
- (2) 職員会議等での児童に係る情報共有
- (3) 通常学級と特別支援学級との連携
- (4) 心を伝える「あいさつ」
- (5) 歌声が響く学級・学校

2 「相談活動」の充実

- (1) 児童と向き合う時間の確保・相談旬間
- (2) 児童相談の定期的な時間の確保
- (3) 「相談窓口」の周知と活用
- (4) 学級担任・生徒指導・特コ等との日常的な連絡調整→迅速な「チーム対応」

3 家庭や地域、外部関係機関との連携

- (1) 家庭や地域・CS等との連携
- (2) 教育相談所・SC・SSW等との連携

4 職員研修の充実

- (1) 職員の資質向上を目指した研修の充実
- (2) 職員による研修報告(学びの共有)

仲間や地域と共に創り上げる学校

◎ 「一人ひとりのやる気」をつなぐ

1 自分たちでつくる児童会・行事

- (1) 仲間意識を育てる登校班
- (2) 縦の繋がりを大切に交流活動
- (3) 児童会や行事等の企画・運営
- (4) 学校生活の課題を自分たちで解決しようとする活動(挨拶・清掃、等)

2 地域を知り 地域から学ぶ

- (1) 地域から学ぶ
  - ・遠足、地域探検、社会見学、等
  - ・地域素材の教材化→学びの共有
- (2) 地域の方々から学ぶ
  - ・米作り、歴史講演会、クラブ、等
- (3) 地域の方々との交流
  - ・老人福祉施設、保育園、等

3 地域連携 …健康・安全・安心づくり

- (1) 家庭や地域と連携した「食育・情報教育・保健教育」等の充実と発信
- (2) 危険箇所の確認と安全マップづくり
  - ・自分の命は自分で守る

〔評価するための検証方法〕(達成目標と検証時期)

- UDをベースに重点研究部会を据え、自己目標を設定し、振り返り・検証を行う(各学期ごと)
- 国語と算数の単元テストで、全国平均と比較を行い、指導の見直しを行う(各学期)
- 児童・保護者アンケートで「学校が楽しい」「授業がわかりやすい」を95%以上に(学校評価アンケート 年2回)